

特集1

急性期医療を効果的に
行うための病院建築

◎岡本和彦（東洋大学建築学科・工学博士）

今後、急性期医療をますます充実させていくことが求められます。効果的・効率的な急性期医療のための建築的工夫の実例をご紹介します。

特集2

新任管理者のための
マネジメントスキルアップ講座

◎岡本真知子（特定医療法人仁生会細木ユニティ病院看護部長）

人の行動には、動機だけでなく、周囲の「反応」がかかわっています。相手の人格を変えることはできませんが、行動を変えることはできます。管理者として、ストレングスを伸ばす役割を担った人のための、さわやかなマネジメント法を提案いただきます。

特別記事

催奇性を心配しながらてんかん薬を飲み、
妊娠・出産する患者さんのこと

◎石田重信+島本真規

研究

WRAPを訪問看護に導入した効果研究

◎藤田茂治+小瀬古伸幸

レポート

精神科病院が消えた国イタリアで、
地域の共同住居で暮らす経験をして

◎吉田育美+武井麻子

* 予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

日精看専門Iで、鹿児島県の地を初めて踏んだのですが、地元の人々の振る舞いにすっかり魅入られてしまいました。タクシーに限らず、会場、ホテル、空港の売店の人まで、みーんな「いい感じ」なのです。東京のホテルみたいに、作られた「おもてなし」や「洗練された対応」とは違って、鹿児島の人々は、1人1人が自分基準の親切さでオリジナルに振る舞っているように見えました。恐れずに人の目をちゃんと見るし、話しかけてくれるし、なんてユマニチュードな土地なんだろう。▼都会では電車の中で化粧したり、社内で大声で長電話したりする人によく遭遇しますが、それってユマニチュードの逆ですね。周囲の人間は、「あなたはここにいない」「あなたは人間ではない」というメッセージを受け取って不安にさせられます。都会というのは認知症老人の気持ちをいつも体験している場なのかもしれませんね。

[追記] 精神看護2014年9月号61～70ページに掲載した特別記事「バングラデシュ“突撃在宅訪問記”」のなかで、20点の写真を掲載いたしましたが、そのうち17点を、ライター・写真家の神保康子さんから提供いただきました。多大なるご協力をいただきながら、その表記を失念してしまい、失礼しました。ここに追記させていただきます。……石川

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第17巻第6号 2014年11月15日発行(隔月刊) 発行: 医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2014, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

『精神看護』編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙イラスト: 寺村栄次 (SCOS) 印刷・製本: 株式会社アイワード

1部定価: 本体1,200円+税 2014年年間購読料(税込、送料弊社負担、年間6冊) 7,590円(冊子版) / 10,590円(冊子+電子版/個人) /

11,700円(冊子+電子版/共有) / 7,590円(電子版/個人) / 8,700円(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

[COPY] (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社) 出版者著作権管理機構 ☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@copy.or.jp の許諾を得てください。

* 『精神看護』は、株式会社医学書院の登録商標です。